

# を可決

(対前年度比1.0%増)



## 3月定例会のあらまし

平成21年第1回定例会は、2月27日から3月25日まで開催され、常任委員会に請願、陳情8件が付託され審査が行われました。

市長並びに教育委員長の施政方針に対する質問は3月2日に、一般質問は3月3日から3月9日まで開催され、計21名の議員が登壇し、市長、教育委員長の考えを質しました。

追加議案を含め条例制定4件、一部改正19件、水沢体育館の指定管理者の指定等10議案、平成20年度補正予算13件が審議されました。

平成21年度予算16件については、一般会計に9項目、水道事業会計に1項目、総合水沢病院事業会計に1項目の意見を付して認定されました。

## 当初予算について

**\*小中学校校舎の耐震補強などに  
73億1664万円**

一般会計当初予算は、景気の急激な悪化による市民税、固定資産税の減額、地方交付税の減があるものの、臨時財政対策債の大幅増等により対前年度比1・0%増の541億円となりました。

歳出は、経常経費の縮減を図り財政の健全化を進めながら、総合計画、マニフェストなどの主要事業に重点配分されています。

投資的経費については、73億1千万円と前年度より3億3千万円4・8%の増となっており、これは建設事業費の大幅増によるものです。

主な新規事業は次の通りです。  
○健康増進サポーター養成事業

○食育推進計画策定事業  
○江刺勤労青少年ホーム指定管理委託

○一般求職者、新社会人人材育成  
○農業表彰事業  
○奥州商工会議所設立事務整備事業補助

○蔵町モール屋台村整備事業  
○観光写真コンクール開催補助  
○簾森・大袋・古戸線整備  
○被災者住宅再建支援事業補助  
○胆沢第一小学校屋内運動場改修  
○羽田小学校屋内運動場耐震補強  
○前沢統合小学校候補地調査  
○水沢中学校屋内運動場耐震補強設計

## 条例の制定

**\*奥州市自治基本条例**

市における自治の基本理念や基本原則を明らかにするとともに、

市民、事業者、議会及び市の役割や責務を明確にして、情報の共有、協働に関する基本的事項を定めるもので、5年ごとに見直しが行われます。特に市民の理解を得ることが重要となります。

**\*奥州市岩手・宮城内陸地震災害復興基金条例**

平成20年岩手・宮城内陸地震の被災者への支援を円滑に推進するために、当該地震に係る災害義援金と見舞金の一部を基金として積み立てるものです。

**\*奥州市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例**

離職率が高く、人材確保が困難な介護従事者の処遇改善を図るため、平成21年度から介護報酬を引き上げる改定が行われることから、そのことによる介護保険料の急激な上昇を抑えるために設置するものです。

**\*農業集落排水施設の使用料条例**  
「汚水処理事業に係る使用料等」の統一に伴う関係条例の整理等に関する条例制定について」が提案され、3年かけて汚水処理関連事業の料金を統一するものです。

農業集落排水事業の質疑がされ、工事費の一部を「負担金」として高く負担している地域で、使用料が高くなる問題があり、一定の配